

(様式第4号)

上田市庁舎改修・改築検討委員会 会議概要

1 審議会名	上田市庁舎改修・改築検討委員会
2 日時	平成29年8月2日 午前10時30分から午後0時35分まで
3 会場	上田駅前ビルパレオ2階会議室
4 出席者	高木直樹会長、丸山正明副会長、伊藤英一委員、小野将司委員、金井美奈子委員、杵掛由利子委員、藤川まゆみ委員、宮本智夫委員
5 市側出席者	神代総務部長、清水庁舎整備担当参事、小野塚政策企画部長、翠川都市建設部長、山口財政部長、柳原総務課長、海瀬行政管理課長、清水情報システム課長、宮澤危機管理防災課長、若林庁舎整備室長、田村建築課長、梅原建築担当係長、小林庁舎整備担当係長、宮原庁舎整備担当係長、渡辺行政改革担当係長、市村行政管理担当係長、吾妻庁舎整備室主査、野田建築課主任、坂口庁舎整備室主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 5人
8 会議概要作成年月日	平成29年8月**日

協 議 事 項 等

1 開 会 (海瀬行政管理課長)
2 報告事項 (1) 第11回検討委員会について ・資料に沿い、7月19日(水)に開催した第11回検討委員会の会議概要について若林庁舎整備室長から報告
3 検討及び協議事項 (1) 上田市庁舎改修・改築基本計画 素々案について ・資料に沿い、若林庁舎整備室長から上田市庁舎改修・改築基本計画 素々案について説明 ・以下、協議 ア 経緯、イ 庁舎整備の方針 (会 長)・基本構想のところで、「もともとが耐震補強で41億円で、同規模で改築した場合は44~50億円で、比較的差が少なく、耐用年数を考えると、改築するほうがメリットがある」という議論はそれでいいが、実際に、今、新庁舎に関して検討している「どうしてもこの規模だと無理があるから、もう少し面積が大きくなり、コストも高くなる」という話をうまく説明できているかどうか気にしながらチェックをしていただければと思う。 ・「ここで44億~50億と言っているのが、いつの間にか70億に増えてしまうというのは何なんだ」という誤解を絶対受けないようにしなければいけないので、そのことだけは留意してほしい。 ・7ページの写真は、上田の新市庁舎の写真ではないので、例えば、「窓口カウンターのイメージ」あるいは、「写真等は他の市庁舎の例をイメージとしてわかりやすくするために掲載します」と書くのはどうか。「これができるんだ」と思われるのは困る。 ・8ページで、上の説明は待合スペース、総合案内の順番で説明されているが、写真が逆になっているので、入れ替えた方が説明の文章の出方とは同じになる。 ・12ページで、「セキュリティエリアのイメージ」はわかりやすいといえればわかりやすいが、例えば、一番左側の来庁者導線のその薄緑色のところに、そこに「レベル1」、あるいは「待合エリア」と書けば、右の部分との整合性がとれるような気がする。 (委 員)・13ページに「市民ギャラリー」と出てくるが、この写真が唐突に出てきたのが不思議だと思った。 (会 長)・これを見ると、完全に「こういうギャラリーができる」と思ってしまうということである。

- (事務局)・この写真は余裕がありすぎるので、検討する。
- (委員)・その横の写真では衣服が販売されているようになっている。それはどうかと思う。
- (会長)・その部分だけカットすればいい。市民ギャラリーの方は、売店もたぶん入るだろうから、売店の写真のようなものを入れたらどうか。
- (委員)・写真をそのまま載せられると、このようにできると誤解されるので、どこかに「写真はあくまでもイメージです」程度の注釈をつけておいた方がいいと思う。
- (委員)・全部の写真に「イメージ」とつけたらいいと思う。
- (委員)・以前から「7日間使用する」や、「土日開放」という文言を提案させてもらっている。ところどころ、「多目的に」とは書いてはあるが、「土日開放するスペース」というような文言は書けないか。
- ・一部でもいいので、市民が自由に出入りでき、集まって使える、また、観光客がふらっと来られるようなスペースを作ったらどうか。機能をなるべく限定しないで、使用者を限定しないパブリックスペースが少しでも多くあればいい。
- (事務局)・「市民利用スペース・施設の整備」の中で、「市民が気軽に利用できる交流スペースの設置を検討します」という中に含まれるということである。
- (委員)・土日開放ということまで書くのはどうか。
- (事務局)・今の段階では、限定的に書くのはなかなか難しい。
- (委員)・東日本大震災以降、有名な建築家の方も「みんなの広場」のようなイメージで作っていることが多く、例えば、安曇野の市庁舎では、土日開放スペースとしてアルプスの展望広場で囲碁をやっていたりするようである。長岡のアオーレもそうだが、他の市町村でも結構そういうことをやっている。省スペースにも、省エネにもなると思う。
- ・真田の図書館も庁舎とブリッジでつなげて、学習スペースや、閲覧室に利用している。そういうフレキシブルなスペースを造れないかと思っている。
- (事務局)・これから基本設計に入っていく中で、委員の皆さんからそういう話があったということはしっかり伝え、そういったものができるかどうかということまでいきたいと思う。
- (委員)・わざわざ作るのではなくていいと思う。
- (事務局)・この間の会議でも出たが、半室内、ピロティにベンチ等を置いたようなものは、可能性はあるかもしれないということで、書けるかどうか検討はしたいと思う。
- (委員)・立川市役所は、ピロティの上にあるテラスと建物の中も一部開放している。建物の中を開放するのが難しければ、テラスから会議室に入る、テラスを開放する、少し削ってテラスやピロティを作るという例もあるので、思いさえあればそんなに難しくはないかと思う。
- (事務局)・基本計画に書けるかどうかはもう一回検討する。また、基本設計の段階では、そういった話は当然出ると思うので、こういう話があったということ、できるかということまで踏まえて相談し、やっていければと思っている。
- (委員)・市民の交流の場や、職員の食事の場所、休憩するところ、または簡単な打ち合わせをするところを限定しないで、フレキシブルに、多目的な使い方ができると、「開放されている市役所」のようなニュアンスが欲しいと思った。
- (事務局)・表現で工夫できればと思うので、検討してみる。
- (委員)・14 ページの触知案内の写真では触知案内かどうかまったくわからない。また、右端に点字誘導ブロックが写っているが、触知案内の前まで誘導ブロックが繋がっていないので、誰も利用しない案内図になってしまう。適切な写真に入れ替えた方がいいと思う。
- (委員)・「間仕切りを基本的に設けずに開放的にする」ということだが、例えば、部長室もオープンにしていいと思うが、その辺は検討課題としては入るのか。
- (事務局)・検討課題として入っており、他市でも、部長室を、個室を設ける例と、個室を設けずオープンにした例もあり、上田市としてもどうしていくか、設計の中で検討することになる。
- (委員)・14 ページの駐車場のところに、「緑化」の文言も入れられないか。
- (会長)・どこに書くかだが、駐車場の緑化という意味では、駐車場のページに書いた方がいいが、19 ページに出てくる、「透水性の舗装」、「落葉樹による日射のカット」のところで「駐車場も

含めて」と書いておけばいいのかもしれない。

・車いす使用者駐車場のところで緑化というのはなかなか限定されて難しいかもしれないが、駐車場のところで、緑化をイメージした駐車場のような写真をつけるのもあるのかもしれない。

(委員)・駐車場の緑化ということを、駐車場のところに書いていないと、インパクトがない。

(委員)・駐車場の方にも書くが、どちらにも書いておけばいいのではないか。

(会長)・18 ページの「(4) 屋上や外壁、広場・駐車場の緑化を行い」というところに書いて、14 ページのところにも。ただ、「来庁者用駐車場として、敷地内の駐車台数を最大限確保する計画とします」と書いてあるので微妙である。

・緑化の方法はいろいろあり、車輪と車輪の間の真ん中だけ少し芝生を植えるぐらいなら、駐車台数も減らないが、木を植えるとどうしても台数は減ってしまう。

(事務局)・木を植えると駐車台数が減るのはもちろんだが、落ち葉というのが非常に問題になる。

(委員)・落ちない、常緑ではどうか。

(事務局)・常緑でも、葉が落ちないわけではなく、管理で苦慮する面が多々あり、小さい木だと緑化の機能が発揮できないという面がある。

・高い木でないとヒートアイランドに対応する緑化とはならないが、高い木は落ち葉の問題などがあり、簡単にはいかないというところはある。

(会長)・「駐車台数は欲しい。でも緑化も」というのはなかなか難しく、例えば、14 ページに「景観や快適性を考慮して緑化を検討します」とだけ入れておいて、駐車区画の真ん中に溝を掘って緑化するぐらいならそんなに難しくないのでは、その画像をイメージとして入れるというあたりでどうか。

・検討して、コスト等で無理だということになればそれは仕方がない。「木を植える」としてしまうと、「最大限確保する」という文章との整合性が取れなくなる。

(委員)・アスファルトの素材というのは。

(会長)・透水性舗装を導入するというのもある。

(事務局)・透水性舗装も、耐久度が非常に悪いというのはある。可能性を検討することは必要かと思う。

(委員)・ある駐車場は、冬は雪が融けやすく、夏は熱くなりすぎないようにしているというような話を聞いた。透水性の素材だけではなく、少し高価かもしれないが、そんな素材も検討をお願いしたい。

(事務局)・素材は外構の設計のときに検討させていただく。

・緑化については、会長が言ったような形で検討させていただく。

(委員)・18 ページの省エネルギー化のところで、断熱が大事だということが伝わるような表現ができればいいと思う。

(会長)・17 ページに「CASBEE の S」とはっきり書いてあり、「ZEB の理念に基づきエネルギー消費の最適化を目指した」というところで、かなり規定はされてしまうので、そういう意味では、「断熱効果に優れる資材などを検討して建物の断熱性を確保し」というのは、この程度でいいかと思う。

(委員)・断熱等級の 4 以上はとらないと、「CASBEE の S」はとれない。

(事務局)・この部分は、委員からも意見があったり、勉強会もあったりした。ZEB に向かってやるとまでは書けないが、ZEB を念頭にやっていきたいということで考えたので、ご理解いただければと思う。

(会長)・17 ページの下の絵は BEMS と書いてあるが、上の文では BEMS とは書いていないので、ビルエネルギーマネジメントシステム BEMS (Building and Energy Management System) と書くか、ビルエネルギーマネジメントシステム (BEMS : Building and Energy Management System) と書いた方がわかりやすいかもしれない。

(委員)・「ライフサイクルを考慮したエネルギーの有効活用」というタイトルが少しおかしいような気がする。

- (事務局)・「ライフサイクルコストを考慮したエネルギーの有効活用」でどうか。
- (会長)・それでもいいかもしれない。
- (委員)・21 ページの「二中の塀などのように城下町をイメージするデザイン」というのはいかがなものか。「塀」という文言が入ってくるのがイメージと違うと思う。
- (委員)・「配色を基に控えめでシンプルな外観デザイン」というのと相反するような印象がある。具体的な案があるのか。
- (事務局)・上の段でお城をイメージしてしまうと、庁舎全体がお城の瓦のようなイメージにとられやすいような気もしたので、それを配慮しながらもシンプルなデザインにというような表現にさせていただき、せめて下の方は少しお城をイメージできるようにということで、まだ具体的なイメージがあるわけではないが、設計者に提案してもらえればと考えている。
- (委員)・二中の塀がつながっていくようなイメージがしたので気になった。造らないとは思いますが、市庁舎に塀はいらないと思う。
- (事務局)・「上田高校や二中の塀などのように」というのを除いて、「城下町をイメージ」という表現にさせていただく。
- (会長)・「電線の地中化に合わせて、城下町をイメージできるデザイン」というような文章にさせていただくということで。

ウ 新庁舎の規模について

- (委員)・A 案の場合、南庁舎との連絡通路の距離はどのぐらいになるのか。
- (事務局)・30 メートルを少し超えるぐらいの長さになるかと思う。
- (委員)・庁舎は1年で120日は休みである。連絡通路を4メートルの通路で約30メートル作ったとして、南側へアーケードのようなテントを出すと約100坪近く雨に遭わない部分が出てくる。普段は駐車場がいいが、土日・祝日は市民広場というような形で、市民に開放できると思う。使わないときは折りたたんでおけばいいので、もっと違った利用方法も考えられる。
- ・また、人口減少でのいろいろな問題、土日・祭日の開放、市役所使用ということも総合的に考えて、このA案でいければ最高だと思う。
- (事務局)・市民の税金も入って造るので、機能が満たされるのであれば、基本方針にもあるように、できるだけコンパクトな庁舎が大前提だとは思っている。
- ・ただ、基本設計でいろいろなことをやっていかないと、面積が確定しないので、10,000～13,000㎡ということを引きずって、基本計画に行かざるを得ないかと思っている。A案で、ある程度のものが入り、教育委員会、あるいは北庁舎の窓口機能も入って、それで収まればベストだろうが、いろいろな機能をプラスアルファしていくと、A案だけでは収まらないかもしれないということもあり、こういう形にしたということである。
 - ・増築する部分をもっとフレキシブルに使えるようにということだが、当然、設計する段階で、そういうことも含めて検討はしなくてはいけないだろうとは思っている。増築する部分の使い勝手をしっかり考えるということではいかがか。
- (委員)・市民サイドで考えるとどうなるか考慮しながらやらないといけない。120日の休みのときにただ空けておくということとは不合理だと思うので、100坪近いものが、雨に遭わないという形になれば、いろいろなものが市民から提案されて、いろいろなものができると思う。通路の中の部分だけ市民に開放する方法も考えられるし、総合的に考えてもらえればと思う。
- (委員)・ゼロエネルギービルディングの勉強会ときのアンケートに、エネルギー以外にどのようなことを重視すべきかという欄を設けたところ「市民が自由に集まれる(集まりやすい)スペース」、「市民が利用できるスペースを作る」、「市民が気軽に立ち寄れる庁舎」、「土日でも市民が利用できるスペースを作る」という意見が多くあった。
- (委員)・この間のワークショップでもそういう意見があった。
- ・先ほどから言っているのは、わざわざそういうスペースを作るのではなくて、フレキシブルにということである。
 - ・プロポーザルはこれを前提にして、例えば、この配置計画ではない、もっと素晴らしい案

が出てきたとしても、それは排除になるのか。

(事務局)・プロポーザルは、「機能としてはこうしてください」という形で、しかも、設計者を選ぶという観点で行うので、そこで出てきた案をそのまま設計に使うということにもならないので、決まった設計者と、皆さんからいただいたご意見を参考にしながら計画を検討していきたいという考え方である。

(委員)・イメージはこういう感じで設計してくださいということか。

(事務局)・いい案があれば、採用することは構わないと思う。

(会長)・「南庁舎と新本庁舎の間を連絡通路でつなぐ機能が欲しい」ということは規定するが、「こういう連絡通路が欲しい」とはたぶん言わないのだからと思うので、「何もしないで南庁舎と新本庁舎がバラバラの状態は困る」という程度でいいのではないか。

(委員)・文言をうまく入れてほしい。

(委員)・今までのイメージでは、A案かA2案で行くのかと思ったが。

(会長)・ここはそうだと思う。「今の駐車場の位置に工事をすることも考えたが、そうすると、長期間、駐車場が無い状態になってしまい、市役所としての機能が果たせない」ということも含め、現実問題として、位置的にはA案かA2案でないと無理だろうということである。

(会長)・現在、低層棟でも業務をしているが、工事に入り、低層棟を壊して、新庁舎ができるまでの間、その業務はどこでやるのか。

(事務局)・特に市民の皆さんが来ていただく窓口等は現在の敷地内で業務を行いながら、市民利用の少ない業務を敷地外の既存施設等に仮庁舎を設けたいと考えている。

(会長)・そのことは書かなくていいのか。低層棟を壊すということは書いてあるが、例えば、分散している庁舎の利用等のところで、「現在の低層棟の部分に関しては、このようにして工事期間は進めます」と一言あった方が親切かもしれない。

(事務局)・基本構想のときに、「建て替え計画」という項目があったが、今回はそれを外してしまった。それを基本計画の中に復活させて、仮庁舎の関係も記載できるかどうか検討してみる。

(会長)・分散している庁舎の利用等の①の北庁舎のことで、「北庁舎は廃止を前提として新本庁舎への集約を検討することとし、当面の間は北庁舎で業務を行います」と書いてある。言いたいことはわかるが、「市民利用が多い窓口機能を新本庁舎への集約を検討します」にして、「当面の間は北庁舎で業務を行います、新本庁舎の完成後は北庁舎を解体し」と書く方が、文章のつながりはいい。

(会長)・「現状で改築すると44億から50億だが、面積が増えることによって、最大74億まで増える」ということにつながってくるので、「防災機能等をしっかり作るためには、現在の8,600㎡では不足する。最低限の機能を集約していくと、どうしても10,000~13,000㎡ぐらいは必要になる」ということを書いた方がいい。

(事務局)・基本構想のところでも、しっかり書いておいた方がいいと言われたので、記載するようにする。

エ 事業計画について

(会長)・南庁舎の耐震補強工事のときには南庁舎の改修はしないのか。

(事務局)・南庁舎の改修をするには、完全に空にしないと難しい。耐震補強は居ながらでやるので、分けて考えている。

・居ながらで改修すると、工期が延びる可能性があり、本庁舎の建設工事の工期への影響も考えられる。最低限できるところはやりたいと思っている。

(会長)・免震工法を想定したときに、60億という金額はあり得るのか。

(事務局)・10,000㎡で試算したときには60億で収まる。

(委員)・活用可能な財源の部分を知る範囲で教えてほしい。

(事務局)・合併特例債、市町村役場緊急機能保全事業債、緊急防災・減災債と、それぞれ借りられる金額、対象が異なっているので、わかる資料を付けるようにさせていただきたいと思う。

(会長)・複合して使えないものも多く、説明が難しい。市民の方から見ると、「合併特例債と、これ

と、これと三つ使えば全部で 100 億でもいけるのではないか」という話にならないか。

(事務局)・確かに説明は難しいかもしれない。

・本庁舎については、合併特例債か、市町村役場緊急機能保全事業債となる。合併特例債の方が、交付税で見てくれる割合が高いので、それだけ見れば一番いいが、他の事業との絡みがあり、単純には決められないという状況である。

・市町村役場緊急機能保全事業債は、今年、創設されたもので、市役所の建て替えには使えるということである。これはあとで交付税が来る分が、合併特例債よりずっと低い、建て替えのときには使えるということもあり、実施計画の中で決めていくようになる。

・緊急防災・減災債は、南庁舎の耐震補強にも使えそうだとということである。これも交付税の率がいいということになっている。

・合併特例債等は、複合的には使えないと言われている。

(委員)・事業費が 60 億だとしたときに、どのぐらいの金額までそういった起債や補助金を使えて、実際に、市が最終的にはどのぐらい負担しなければいけないか、市民説明会などのときには、必ず出てくる問題なので、わかれば教えてほしい。

(会長)・説明なしで書くと、市民の方は、どれも使えるような感じはされると思うので、ここにそれを書くのは、結構、難しいと思う。

(事務局)・あまり細かい数字では出せないかもしれないが、次回、お示ししたい。

(委員)・現在使っている机、椅子、キャビネット等の備品類は、現状のものを使うのか、全部新しくしていくということも考えているのか。

・基本構想の段階で、市民の説明会をしたが、地域協議会には今まで庁舎の改修・改築について説明をしたことはあるか。

・武石地域でも同じ年度で、公共施設の建て替えが計画されているが、本庁舎と同時に進めていくと、財政的には大変だと思うが、並行するということがいいのか。

・基本計画の中にはそれぞれの事項について、「計画します」という文言が出てくるが、「計画します」、「導入します」、「整備します」、「～のものとします」ということについては、決まっているという解釈で基本設計の方に移っていくと思うが、「目指す」とか、「研究します」、「検討します」というものについては、基本設計の中にはどうなっていくのか。

(事務局)・備品については、プライバシーの問題等でカウンターも形状もだいぶ変わったりするので、使えないものが増えると思う。事務机やキャビネット等についても、レイアウトに適合できるものは使えるが、使えないものもあると思う。今後、専門の業者に委託をして、そういう計画をしていきたいと考えている。

・これまでは市民説明会とパブリックコメントをやっただけで、地域協議会の中での説明は行ってきてはいない。

・庁舎の整備として活用できる財源の起債の期限が平成 32 年度までということもあり、この財源のある中で効果的な事業配分をしていくという考えがあるので、今のところは、武石も含め、平成 32 年度までにやってしまいたいと思っている。

・「導入する」、「整備する」といった文言については、基本設計にあたる業者に対しては、そういう考えでやってもらいたいと言うようにしたい。ただ、「検討する」も、どちらかというところ、「できるだけそういった機能あるいは設備を入れられるように考えてもらいたい」ということで設計業者には伝え、それを反映できるようなものを、まずは考えてもらいたいというようにはしていきたいと思う。ただ、いろいろな要素があって、検討したができないということも出てくるかと思う。

(委員)・これからの流れの中で、プロポーザルで設計事務所が決まるのはどこなのか。

・基本計画が完成した時点で検討委員会は解散になるかと思うが、そのあと市民はどう関わられるのか教えてほしい。

(事務局)・もう一回この委員会を開催したあと、議会にもお示しすると同時に、今回も、前回と同じようにパブリックコメント、説明会を 9 月末に行う予定である。それを受けて 10 月中には、もう一回、検討委員会を開いて、そこで確認をいただき、委員から「市民がこう言うなら、

こういう風に変えた方がいい」という意見があれば、変えることもあるかと思うが、10月中には基本計画としてまとめたいと思っている。

- ・基本設計のプロポーザルは、公告して業者が決まるまで最低でも2か月から3か月ぐらいかかるということなので、早くて12月末、あるいは、1月の初めぐらいと考えている。
- ・基本設計の途中でも、市民説明会、あるいは、基本設計を行う業者が市民の意見をもっと聞きたいというようなことがあれば、ワークショップ等をやるということもあるかと思う。あるいは、地域協議会に意見を聞くというようなことも必要ならやればと考えている。
- ・基本設計がある程度まとまったところでは、市民の皆さんに、こんな庁舎になりますと、パース図、配置図といったものを見てもらい、また意見をもらうというような段階は踏んでいく必要があると考えている。実施設計に入っても、また同じようなことをやっていくということである。
- ・今までもやってきた、任意の勉強会等の中で、「こういう庁舎にしてもらいたい」という意見が出てくるかもしれない。全部受けられるかどうかはわからないが、要望等をいただくのは、拒むものではないと考えている。

(会 長)・基本設計をしている間に、「ワークショップでこういう意見が出ているので、配慮いただければ」というものを出していくということだと思う。このスケジュールなら、平成30年度の早いうち、あるいは、平成29年度中に言うべきことは言った方がいい。

(委 員)・市役所の建て替えということで、働いている職員にとっての快適性、仕事の効率といったことも重要だと思っている。今、快適ではない状態で仕事をしているところが多いのではないかと思うが、それは仕事効率の悪さにつながると思うので、快適な執務空間という発想も大事にしていなければならないと思う。

(事務局)・庁内のいろいろな意見を聞いて進めていくということ考えている。

(委 員)・基本計画を総合的に、いろいろな意見・要望が出て、最終的には一番いい方法はどれかということで絞り込んで、総合的に判断して決めていくと思うが、そのときに、例えば、職員から見た問題、庁舎を建てるためだけのいろいろな問題、市民サイドから見た問題、いろいろなバランスを総合的に吟味してもらいたい。

(会 長)・市民からいただくパブリックコメントについても、出た意見を適切に判断して、基本計画の中にどうやって入れていくのか、最終的にはこの委員会の仕事になるかと思う。

(委 員)・市役所に付ける太陽光パネルを、市民の皆さんの出資で付けるという仕組みも可能である。そうすると、その分の費用はかからず、市民に開かれた、地域みんなの市庁舎というものが醸成されるので、希望する方がそこに参加できるような仕組みも検討していただければと思う。

(事務局)・小学校の体育館等は公募してやっているが、太陽光のパネルがうまく配置できるか、基本設計をやってみないと、まだ、そういう風にやりますとは言えないところがある。

(会 長)・基本設計の段階で再度提案されるのがいいのではないかと思う。

協議結果：○今回の検討委員会で出された意見を踏まえて基本計画（素々案）を修正し、次回の検討委員会に基本計画の素案として示す。

(3) その他

- ・次回の検討委員会は8月21日（月）午前10時30分から、上田駅前ビルパレオ5階会議室で開催する。
- ・9月中には、基本計画の案を市議会に報告・説明するとともに、市民説明会とパブリックコメントを予定。
- ・10月に検討委員会を開催し、最終的な基本計画をまとめる予定。